

八ヶ岳総合博物館 ☎73-0300

神長官守矢史料館 ☎73-7567

博物館情報

鳥見スポット尖石史跡公園・青少年
自然の森で5週連続探鳥会

日時 4月30日(日)、5月7日(日)、14日(日)、
21日(日)、28日(日)
各日6時～8時

場所 青少年自然の森 管理棟前 集合広場

講師 両角英晴さん(日本野鳥の会諏訪支部)

料金 無料(要申込)

その他 荒天中止(小雨実施)。車でお越し
の場合、青少年自然の森管理棟裏
駐車スペースをご利用ください。

休館日

4月3日(月)、10日(月)、17日(月)、
24日(月)

開館時間

9時～17時(史料館は16時30分まで)

観覧料

博物館 大人310円、高校生210円、小中学生150円
史料館 大人100円、高校生70円、小中学生50円

★check★
博物館
ホームページ



春の探鳥会

日時 4月9日(日) 8時～10時

場所 運動公園大橋横駐車場

内容 繁殖期を迎えた留鳥、渡って
きた夏鳥、渡りを前にした冬
鳥を観察します。

講師 両角英晴さん(日本野鳥の会諏訪支部)

定員 20名(要申込)

料金 無料

持ち物 双眼鏡(お持ちの方)

申込 3月21日(火)から電話で受付

令和5年度参加者募集

博物館では年間を通じて活動する講座・グルー
プの参加者を募集しています。詳しい内容は、
博物館ホームページをご覧ください。

- ・子ども科学工作クラブ(4月3日消印有効)
※往復ハガキで申込み。応募者多数の場合、抽選
- ・子ども自然研究クラブ(4月3日消印有効)
※往復ハガキで申込み。応募者多数の場合、抽選
- ・令和5年度学習会員、第4期市民研究員
(随時受付)

定例イベントスケジュール

※申し込みは、前月20日(休館日の場合は翌開館日)から電話で受け付けます。
※イベントの詳細はホームページなどでご確認ください。

さきおりでランチョンマット

日時 4月8日(土)、9日(日)、
10時～11時30分と
13時～14時30分

対象 小学校高学年以上
(踏み木に足が届く身長の方)

定員 5名

参加費 400円

※要申込

星空観望会

日時 4月22日(土)
19時30分～21時

場所 北部中学校天体ドーム

講師 若宮崇令さん、博物館職員

定員 20名

参加費 無料

その他 雨天曇天の場合は中止

※要申込

古文書相談会

日時 4月8日(土)
13時30分～15時

参加費 無料

その他 鑑定等はいりません。

※要申込

★4月のプラネタリウム
「活動する太陽」

日時 土・日・祝日
10時30分～、13時30分～

定員 8名

料金 通常入館料

その他 休止あり。予約時にお確か
めください。

※要申込



尖石縄文考古館

Chino x Jomon



4月の休館日 3日(月)、10日(月)、17日(月)、
24日(月)

開館時間 9時～17時

☎76-2270

考古館ホームページ



掲載されている以外の情報は
ホームページをご覧ください。



茅野市民館
Chino Cultural Complex
茅野市美術館
Chino City Museum of Art



茅野市塚原一丁目1番1号 (JR 茅野駅東口直結)
TEL 0266-82-8222 FAX 0266-82-8223
休館日 火曜日(火曜が祝日の場合、翌平日)、年末年始
http://www.chinoshiminkan.jp/



茅野駅東口のすぐ横にある
茅野市民館。茅野市美術館を
併設し、劇場・音楽ホール、市
民ギャラリー、図書室、レスト
ランなどを合わせ持つ、文化
複合施設です。
茅野市美術館は郷土色豊か
な美術館として、地域にゆか
りのある作家たちの作品を収
集、展示しています。その収
蔵作品は絵画、彫刻、工芸、
書、版画、写真など多岐にわ
たります。
諏訪地方では、郷土の出身
者や戦時中に疎開してきた美
術家たちにより、先駆的な美
術教育普及が行われました。
そして、郷土出身の作家に加
え、蓼科高原をはじめ八ヶ岳

「第1期収蔵作品展」より 展示作品のご紹介

中尾彰《青い村》1968年

洋画家・中尾彰^{しょう}さんは、1935年頃から訪れるようになった
蓼科の地へ1953年にアトリエを構えました。蓼科やその近辺を描いた作品を数多く残し
ています。そのうちの1点である《青い村》は、明るく柔らかな色合いや、はっきりと描かれ
た家々の線が印象的です。中尾さんがこの地から受けた感動が込められた作品です。

山麓の豊かな自然を愛し滞
在した作家、アトリエを構え
た作家たちにより、数多くの
作品が生まれています。
そのような作品の数々を展
示しているのが「収蔵作品展」
です。年4期で内容を変えて
開催しています。無料で鑑
賞いただけますので、どうぞ
お気軽にご来館ください。

令和5年度 茅野市美術館 常設展 第1期収蔵作品展 4月9日(日)～7月3日(月)

考古館通信 Vol.10

縄文時代の交易

縄文式土器はその地域によって、紋様や型式が
異なっています。茅野市の遺跡からは、近畿地
方などの遠く離れた地方で作られた土器がいく
つか出土しています。なかには50cmを超える
ような大きな土器もあります。整備されたまともな道もなかった時代、縄文人たちは土器をこ
わさないように、苦労して運んだと思われます。
その代わりに、黒曜石を持って帰ったのでしょ
うか？

